

2007年3月期 決算説明資料

2007年5月14日
石川島播磨重工業株式会社



IHI

2006年度 連結決算の概要

	中間時予想		中間時予想比 (億円)	
	2006年度	2005年度	増	減
受注高	12,300	13,595	1,295	1,339
売上高	12,000	12,348	348	1,077
営業利益	340	246	94	28
経常利益	250	215	35	56
税引前当期純利益	280	453	173	231
当期純利益	150	158	8	105

2006年度の特別損益(237億円)の内訳:

土地等売却益 312億円
 投資有価証券売却益 185億円

宇宙開発事業関連資産評価損 142億円
 和解金 34億円
 減損損失 31億円
 固定資産廃却損等 21億円
 その他特別損失 28億円



対前年度比損益増減要因分析

◆営業損益の増減要因 (28億円)

・売上高の変動	93億円
・為替差損益	29億円
・工事採算の変動	2億円
・販売費・一般管理費の増加	96億円

◆営業外損益の増減要因 (28億円)

・金融収支	13億円
・為替差損益	10億円
・持分法による投資損益	1億円
・その他	52億円

◆特別損益の増減要因 (175億円)

・土地等	112億円
・減損損失	101億円
・固定資産廃却損等	63億円
・宇宙開発事業関連資産評価損	142億円
・和解金	34億円
・その他	75億円

対 中間時予想比損益増減要因分析

◆ 営業利益の増減要因 (94億円)

・売上高の変動	42億円
・為替差損益	16億円
・工事採算の変動	148億円
・販売費・一般管理費の増加	4億円

◆ 営業外損益の増減要因 (59億円)

・金融収支	28億円
・為替差損益	8億円
・持分法による投資損益	3億円
・その他	20億円

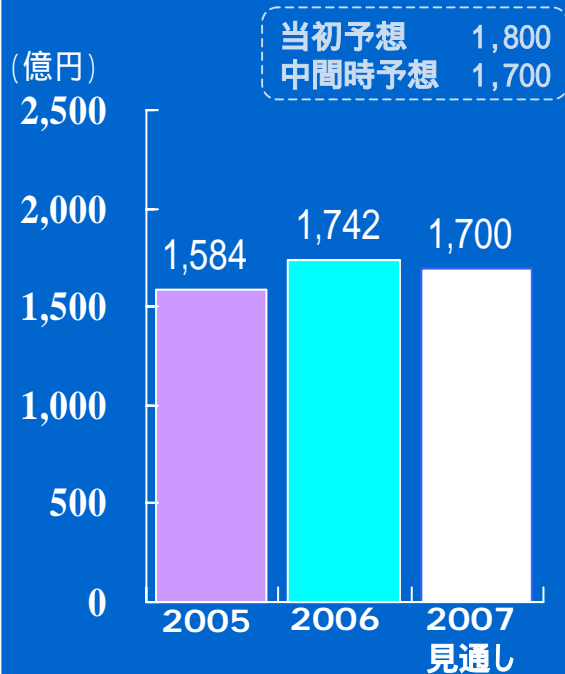
◆ 特別損益の増減要因 (208億円)

・土地等売却益	312億円
・投資有価証券売却益	105億円
・宇宙開発事業関連資産評価損	142億円
・減損損失	31億円
・その他	36億円

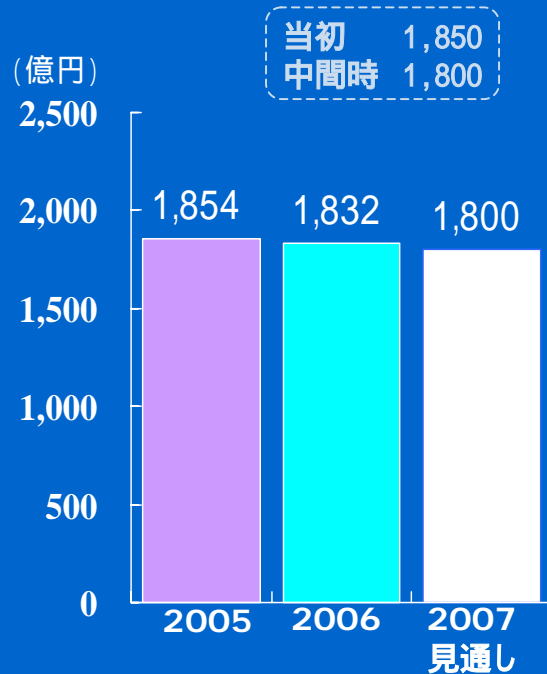
物流・鉄構事業

運搬機械、物流システム、駐車装置、橋梁、鉄構、水門、掘進機、その他

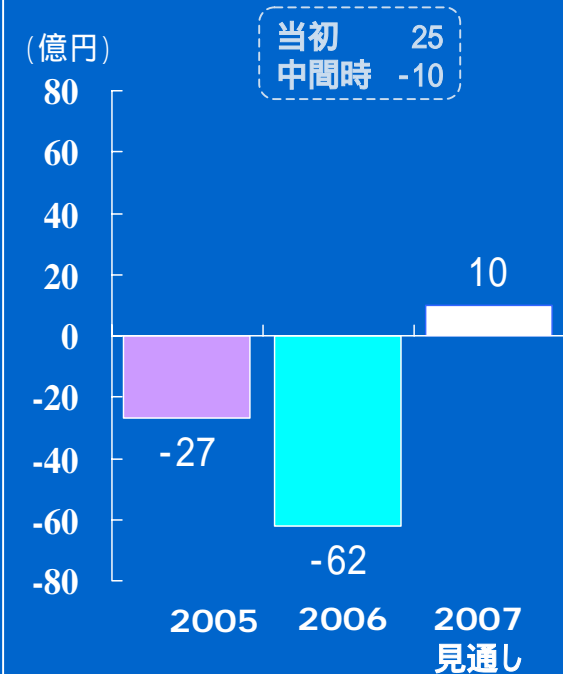
受注高



売上高



営業利益



<2005年度対2006年度>

運搬機械, 駐車装置, 鉄構が増加
車両, コンクリート製品が減少

<2005年度対2006年度>

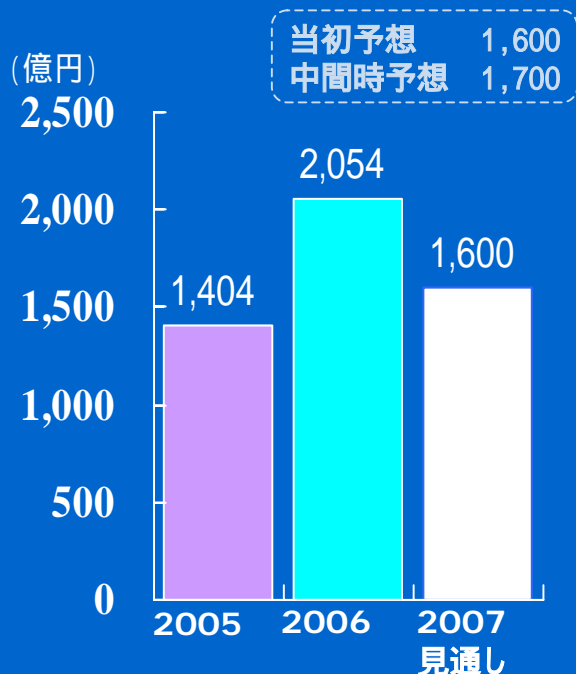
物流システム, 駐車装置, 車両が増加
橋梁, コンクリート製品が減少



機械事業

圧延機、工業炉、プレス、風水力機械、製紙機械、汎用機械、車両用過給機、その他

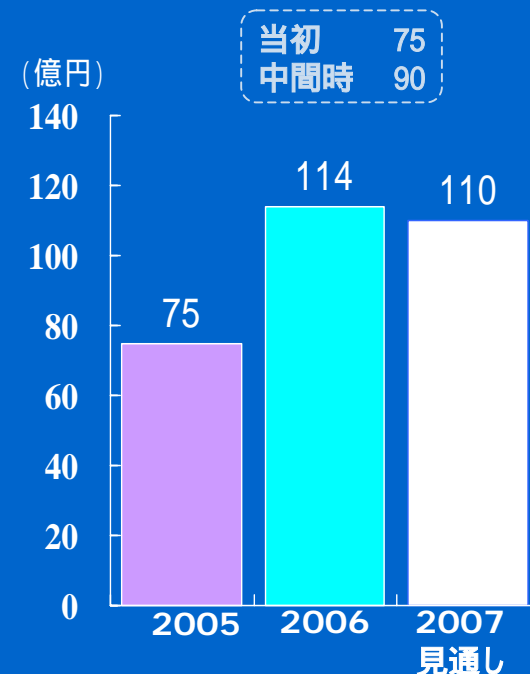
受注高



売上高



営業利益



<2005年度対2006年度>

工業炉, 圧延機, 車両用過給機,
製紙機械, プレスが増加

<2005年度対2006年度>

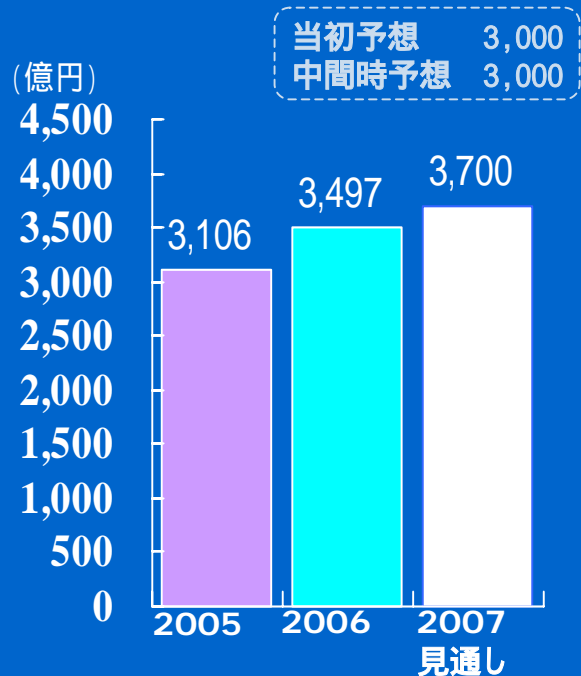
車両用過給機, 工業炉, 製紙機械が増加
圧延機が減少



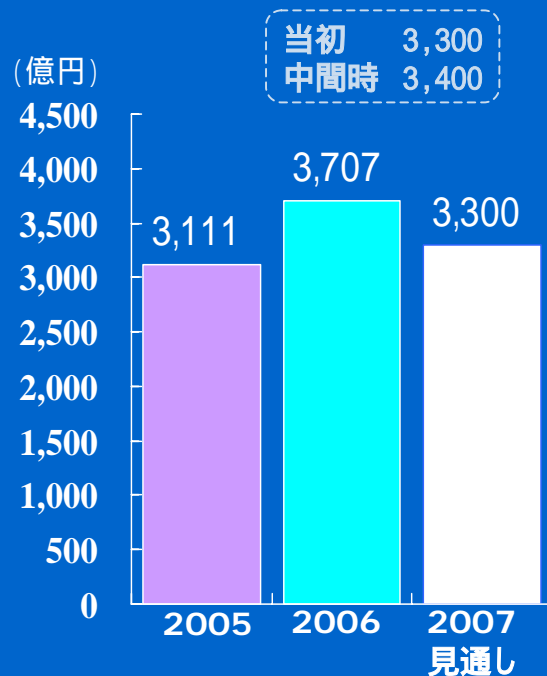
エネルギー・プラント事業

ボイラ、原子力機器、ガスタービン、ガスエンジン、電子機器、脱硫・脱硝装置、環境設備、化学機械、貯蔵設備、その他

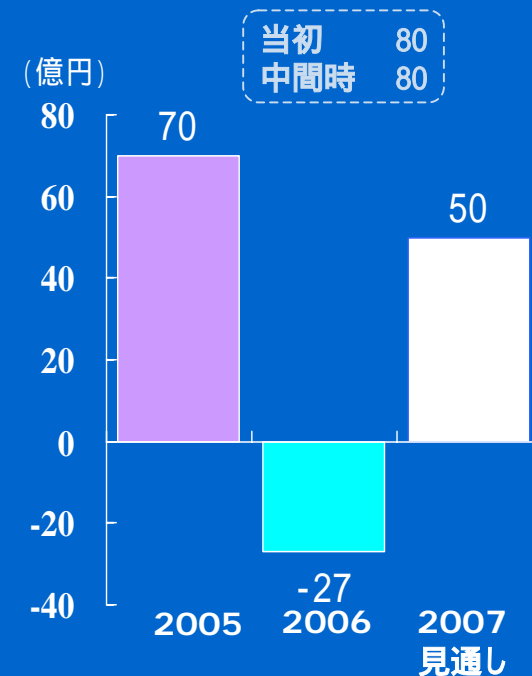
受注高



売上高



営業利益



<2005年度対2006年度>

ボイラ, ガスエンジン, 原子力機器が増加
貯蔵設備, 化学機械が減少

<2005年度対2006年度>

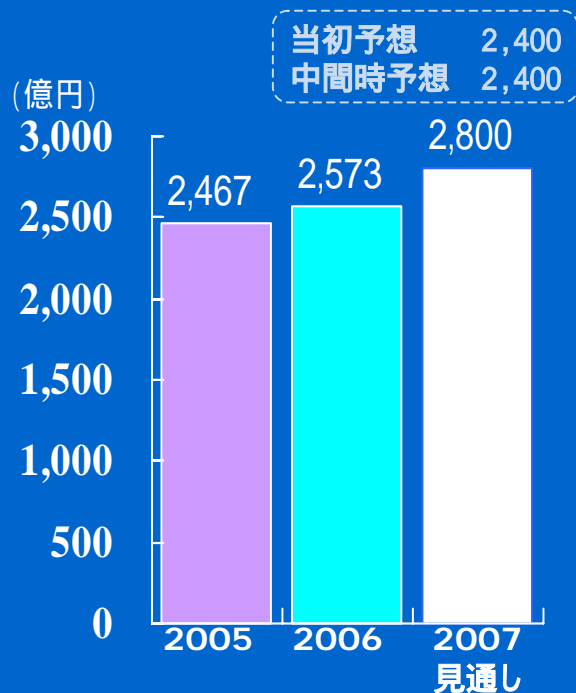
ボイラ, 貯蔵設備, ガスエンジンが増加
化学機械が減少



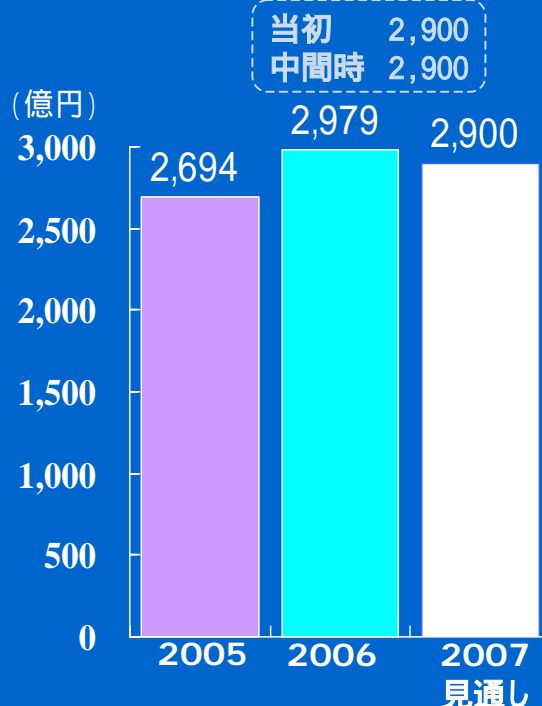
航空・宇宙事業

航空エンジン、宇宙機器、その他

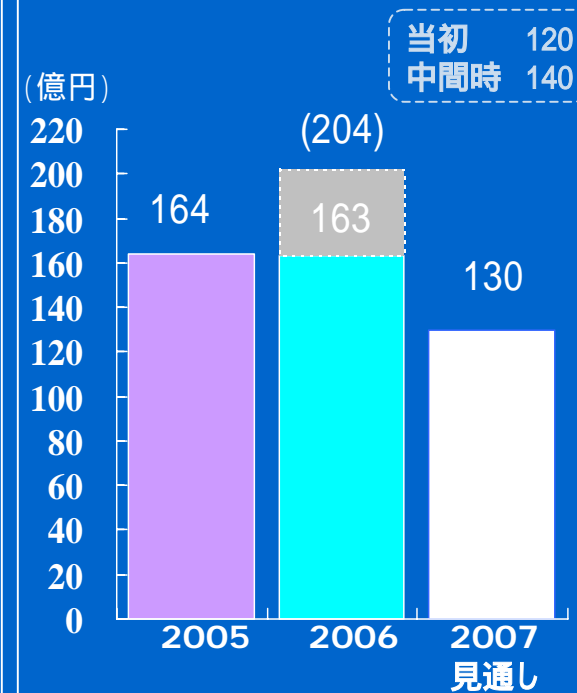
受注高



売上高



営業利益



<2005年度対2006年度>

民間エンジンが増加
防衛エンジンが減少

<2005年度対2006年度>

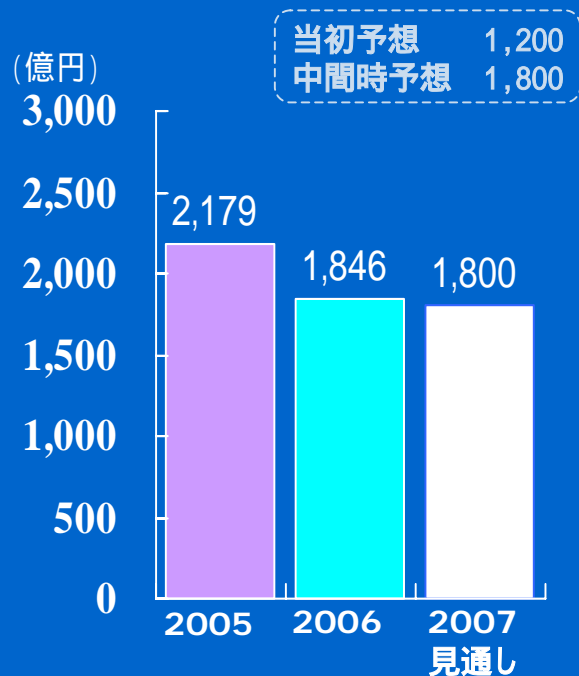
航空エンジンが防衛・民間とも増加



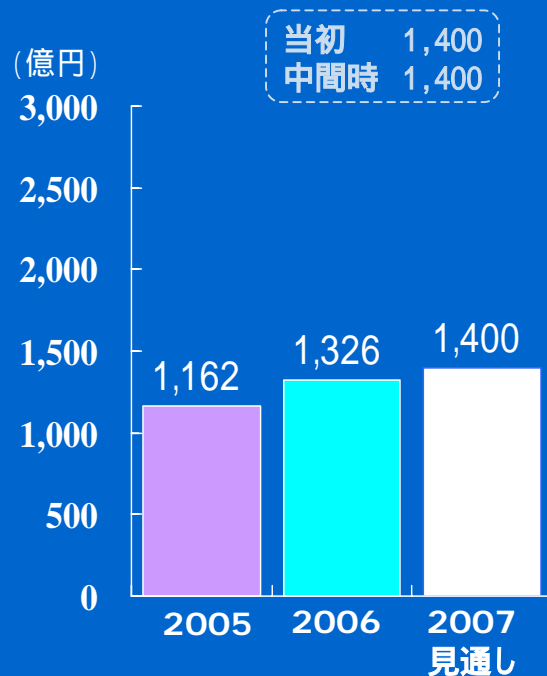
船舶・海洋事業

新造船、修理船、海洋構造物、その他

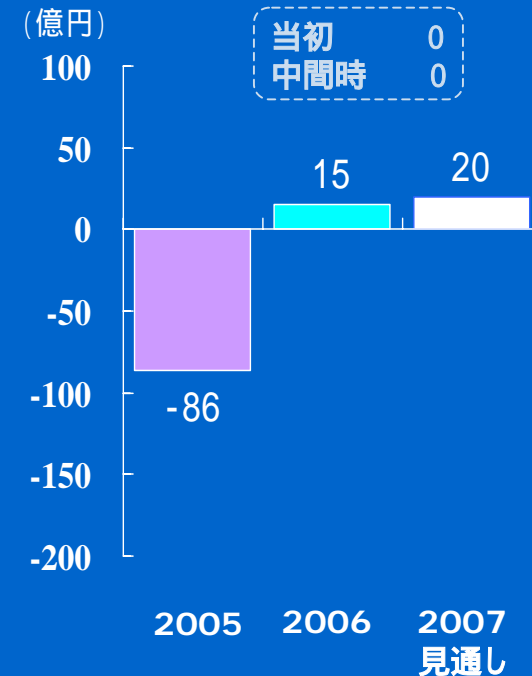
受注高



売上高



営業利益



<2006年度 隻数>

新造船受注 23隻 (前年度は25隻)
VLCC 3隻 バルクキャリア17隻
コンテナ船 1隻 その他 2隻

<2006年度 隻数>

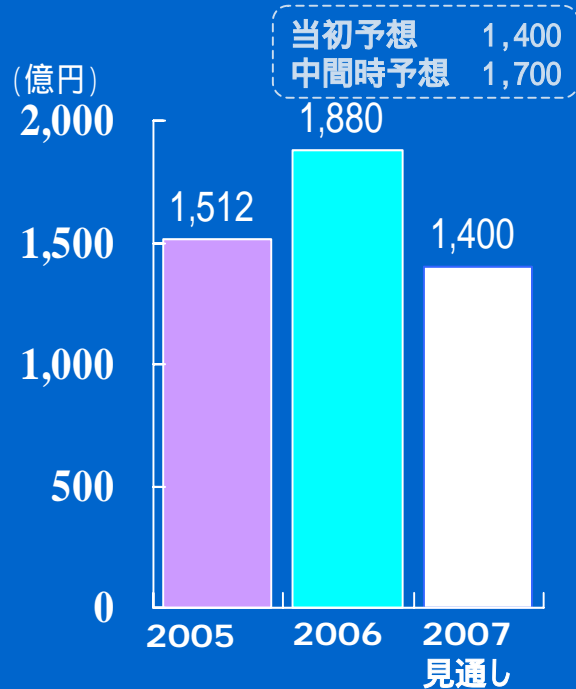
新造船売上 15隻 (前年度は15隻)
VLCC 2隻 バルクキャリア 8隻
コンテナ船 4隻 その他 1隻



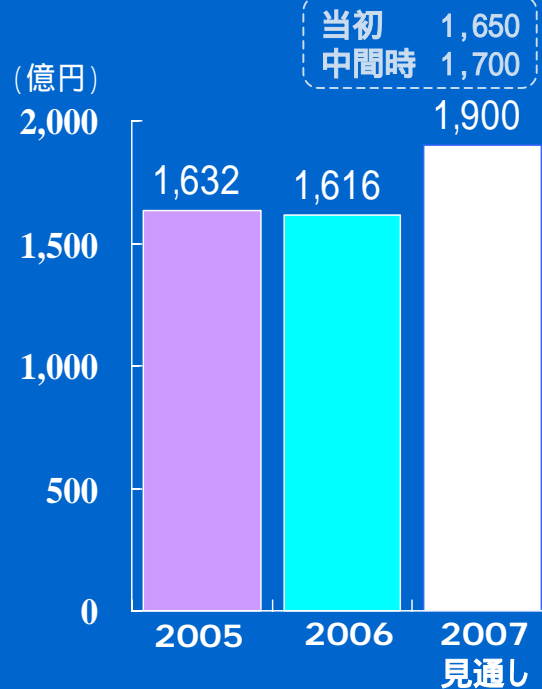
その他事業

不動産、雑工事、建設機械、農業機械、サービス、その他

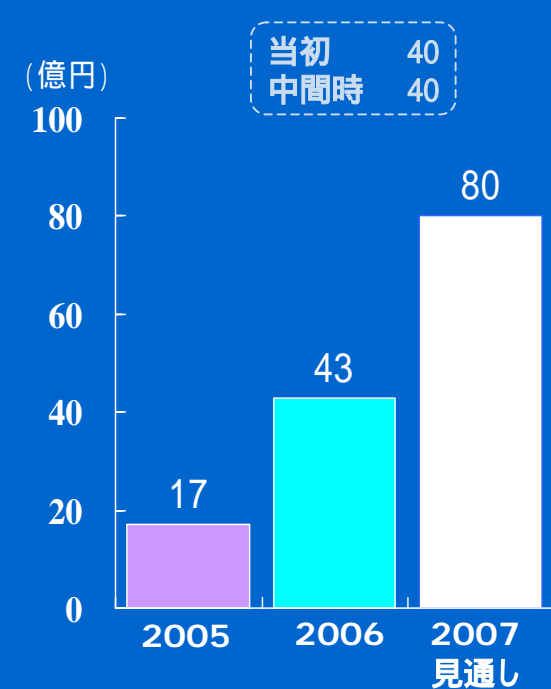
受注高



売上高



営業利益



<2005年度対2006年度>

不動産、建設機械が増加
船用ディーゼルエンジン、
農業機械が減少

<2005年度対2006年度>

建設機械、不動産が増加
農業機械が減少



2006年度 単独決算の概要

中間時予想

中間時予想比 (億円)

	2006年度		2005年度	増減	
	中間時予想	実績		2005年度比	増減額
受注高	6,100	6,666	5,839	566	827
売上高	6,400	6,599	6,127	199	471
営業利益	170	71	137	99	66
経常利益	150	127	125	23	1
税引前当期純利益	130	265	124	135	140
当期純利益	70	61	40	9	21

2006年度の特別損益(137億円)の内訳:

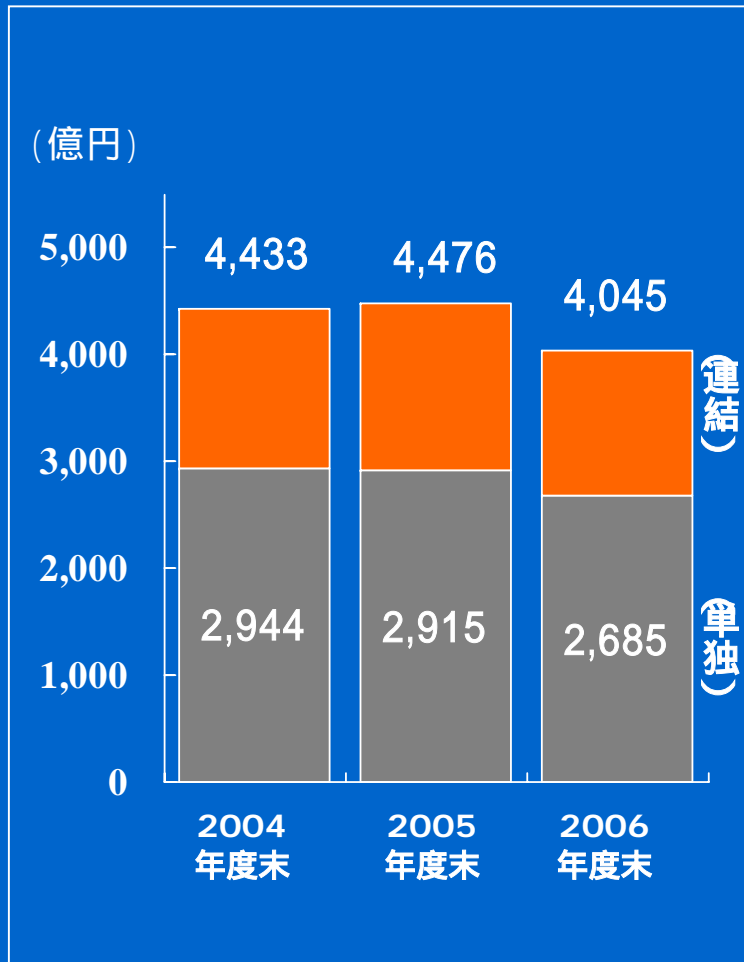
土地等売却益 311億円
 投資有価証券等売却益 116億円
 その他特別利益 2億円

子会社損失引当金繰入額 136億円
 宇宙開発事業関連資産評価損 59億円
 関係会社株式等評価損 36億円
 和解金 34億円
 その他特別損失 25億円

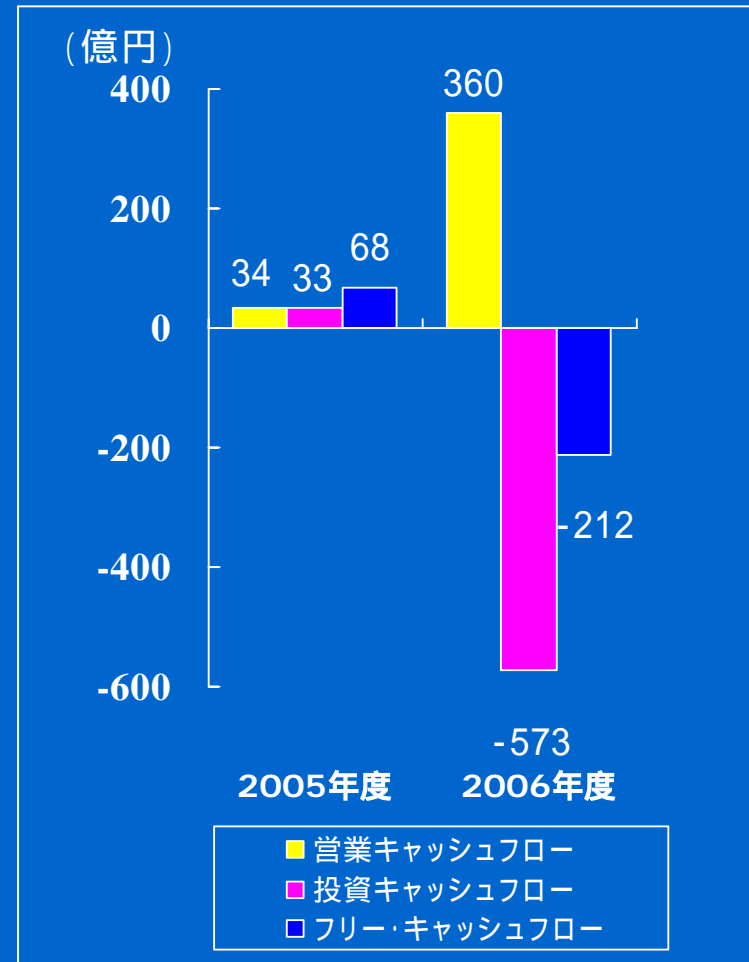


有利子負債・キャッシュフロー

有利子負債



連結キャッシュフロー



研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)

	2005年度 実績		2006年度 実績		2007年度 見通し	
	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独
研究開発費	216	130	234	150	260	170
設備投資額	284	102	653	473	400	200
減価償却費	238	112	268	132	300	150

2007年度 連結業績見通し

(為替レート 1ドル=110円)

(億円)

	2007年度見通し	2006年度実績	増 減
受 注 高	13,000	13,595	595
売 上 高	12,300	12,348	48
営 業 利 益	400	246	154
経 常 利 益	300	215	85
税引前当期純利益	300	453	153
当 期 純 利 益	160	158	2

2007年度見通しの特別損益の内訳:

固定資産等売却益

30 億円

固定資産廃却損等

30 億円

セグメント別 連結営業利益

(億円)

	2006年度			差異理由	2007年度		増減理由
	中間時 見通し (A)	実績 (B)	差異 (B)-(A)		見通し (C)	対2006年 度 (C)-(B)	
物流・鉄構	10	62	52	一部関係会社と海外工事の悪化	10	72	採算の改善
機 械	90	114	24	関係会社の改善	110	4	引続き堅調
工機・ ・プラント	80	27	107	海外大型工事でのトラブルによる採算悪化	50	77	不採算案件は 06年度に手当済み
航空・宇宙	140	163	23	売上増加と円安効果	130	33	引続き堅調だが円高，材料費アップ，研究費負担増により悪化
船舶・海洋	0	15	15	円安効果と採算改善	20	5	引当済不採算船売上の減少
その他	40	43	3		80	37	不動産売上の増加
合 計	340	246	94		400	154	



2007年度 単独業績見通し

(億円)

(為替レート 1ドル=110円)

	2007年度見通し	2006年度実績	増 減
受 注 高	6,500	6,666	166
売 上 高	6,500	6,599	99
営 業 利 益	180	71	109
経 常 利 益	150	127	23
税引前当期純利益	150	265	115
当 期 純 利 益	80	61	19

2007年度見通しの特別損益の内訳:

固定資産等売却益
固定資産廃却損等

30億円
30億円



IHI 石川島播磨重工業株式会社

Explore the Engineering Edge

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。